

# 都市計画マスタープラン策定に係る地区懇談会(豊房地区)

## — 第1回 懇談会要旨 —

### 1. 懇談会開催日時等

日時：平成20年1月26日(土) 18:30～20:00

場所：豊房地区公民館

市職：都市計画課4名

### 2. 懇談会次第

1) 開会

2) 都市計画課課長挨拶

3) 懇談会テーマ、意見交換

①都市計画マスタープランとは

②館山市全体及び豊房地区の都市計画の現状

③まちづくりに関するアンケート結果の概要報告

④質疑、意見交換

4) その他

5) 閉会

### 3. 参加者

16名

### 4. 豊房地区から出された主な意見

○都市計画マスタープランへの要望

・特になし

○地区の整備に関する要望

・

○その他

・まちづくりに関する市民アンケートの結果を公表してほしい。(広報等)

・市街地内の電線地中化(風車のある良好な景観を保護)

### 5. 懇談会要旨

#### 【資料説明】

①都市計画マスタープランとは

・都市計画マスタープランの役割や法的位置づけ等について説明。

②館山市全体及び豊房地区の都市計画の現状

・市全域及び豊房地区についての人口推移や土地利用現況等を説明。

・以下の事項等をテーマとして都市計画マスタープランを策定すると報告。

→都市計画道路の新設・廃止を含めた見直し

→用途地域の拡大や変更等の見直し

→景観形成

- 都市公園の新設等を含めた見直し
- 中心市街地の空洞化

### ③まちづくりに関するアンケート結果の概要報告

- ・アンケートの結果より、以下の事項がまちづくりの方向性に挙げられると報告。
  - 誰もが住みやすい、安全・安心なまち
  - 自然や文化を活かした観光都市
  - 公園の整備

#### 【質疑、意見交換】

以下、参加者から出た意見を“○”、事務局からの回答を“⇒”とする。

○西長田のセールスポイントは風力発電である。そのプロペラが一番良く見える場所は文化ホール脇の国道410号の橋の上からであり、理由は電線がないからである。市域全体とは言わないが、市中心部だけでも電線を地中化すれば、市街地からプロペラを見たとき景観が良くなると思う。

⇒電線地中化は景観にとっては、重要なことだと認識しています。

現在、海岸通りをシンボルロードとして整備しており、電線地中化を行うこと予定でいます。しかしその他の市街地についての電線地中化は、難しい状況です。

○アンケート結果の報告はとても貴重なものであったが、資料を何故配布しないのか？  
またアンケート結果を広報に掲載できないか？

⇒アンケート結果については、ホームページにて公表することを考えている。広報への掲載については、ボリュームも多いため、どのように掲載するかも含め検討・調整する。

○アンケート回収率6.7%は低すぎる。アンケート実施方法に問題があるのではないか？

⇒今回のアンケートは、広報に折り込み全戸配布とした。通常行っているアンケートは、無作為抽出にて抽出した対象者へ対し、直接郵送による配布を行っており、その場合の回収率は30~40%程度となっている。配布方法に問題があったのかもしれないが、今後は配布方法を検討する。また、PRが足りなかったのかも知れません。

⇒アンケート内容が難しい設問であったこと、またテーマが「まちづくり」であり、これまでのまちづくりが駅周辺に偏っていたために回収率が低かったものとする。

○懇談会は、これまで何地区終わったか。また、参加人数は。

⇒5地区終了している。そのうち、区長だけの参加が2地区（九重・西岬）、回覧による全戸周知が3地区（館野・那古・船形）である。参加人数は、館野9、船形約50、那古26、九重10、西岬約20である。

○40年間も未着手の都市計画道路が多数あるが、元々の計画が杜撰<sup>ずさん</sup>なのではないか？

⇒都市計画道路の整備進捗が遅れていることは反省すべきことと認識している。なお進捗しなかった理由としては、都市計画道路の整備には、多大な費用と時間がかかり、概ね10年/本が現状である。また、現在決定した都市計画道路の多くが、市中心部の市街地に集積しており、そこに生活している市民の立ち退き等の問題があり進捗しなかった。

⇒人口減少が進む現在、既決定及び新たに必要となる都市計画道路について、今後議論し、都市計画道路の見直しを実施する。

○銀座通り商店街の商店はどのくらい減ったのか？

⇒具体の数字は把握していないが、半減したイメージはある。大規模小売店舗の進出もあるが、自動車への依存度が高い本市において、駐車場が十分に確保できていないことも理由と考える。今後は駅周辺といった利便性の高い土地であっても、駐車場や安全な歩行空間を整備する必要があると認識している。

○大規模小売店舗は、地域貢献に対する意識が低いのではないか？(地区として御輿を出しているが、その際のお祝い金を大規模小売店舗は拋出してくれない)

⇒大規模小売店舗の地域貢献の話は、他でも出されており、商工会議所も大変問題視しているようである。なお、現在千葉県では、大規模小売店舗等に対する地域貢献に関するガイドラインを整備中とのことである。

○基幹農道について、開通後の H22 年度以降は館山市がその維持管理等を引き継ぐと聞いているが？

⇒H22 年度以降は、館山市内の区間については、緑資源機構より移管することとなっている。但し、整備費負担の事情により、移管後すぐに市道とはできず、農道として存続するとのことである。